

委員会事業方針・事業計画

総務広報委員会

担当副理事長 葛 西 良 樹

基本方針

2012年度、五所川原青年会議所は公益法人格を取得し、移り変わる時代の中に於いても一貫した目的の下、まちや人の発展に向けた市民意識の変革運動を展開して参りました。私達が住み暮らすこの地域の「明るい豊かな社会」の実現を理想とし、青年経済人として責任世代である我々はこの創始の精神を受け継ぎ、今後も地域から更なる期待と信頼が頂けるよう、青年会議所運動を展開していかなければなりません。

総務広報委員会では、総会・各委員会の定例会におけるセレモニー設営を確実に行うことで、この青年会議所の礎となり、各委員会の運動が淀みなく推進されるよう組織を支えます。また、外部への「迅速な情報公開」をしていく為の基盤を作っていくことにより、各委員会の運動が地域に素早く発信され、青年会議所活動を地域の皆様にご理解していただき、地域に必要とされる団体となる為の環境を培って参ります。

公益法人として自覚を持ち、これからも広く地域から信頼を得ることができる団体として、運動が確実に履行される環境を整備、発信していくことが、「明るい豊かな社会」の実現を確立できる団体に繋がるものと確信し、1年間邁進して参ります。

委員長 石 田 潤

基本方針

私達が住み暮らすこの地域の「明るい豊かな社会」の実現を理想とし、五所川原青年会議所が設立。2012年度には公益法人格を取得し、10年が経ちました。諸先輩方から脈々と受け継がれてきた、このまちへの思い、信頼を繋げる為に、公益事業に重きを置き、青年会議所運動を展開して参りました。そしてこれからも更なる期待と信頼を頂く為に、この地域へ好影響を与え、総務として組織をサポートし、広報として、速やかな情報発信を行いながら、青年会議所運動を展開していかなければなりません。

その為にも、公益法人制度を基に執行部、各委員会と連帯を図りながら、総会、定例会の設営、新年祝賀会、役員選考委員会委員選挙を総務広報委員会が各委員会の支えとなり、円滑で淀みない定例会を執り行います。また、加速するソーシャルネットワーキングサービスの運営基盤を作り、各委員会と共に事業前の周知、事業進行中、事業後の報告を行うことで、「迅速な情報公開」をより推し進めていく環境を培って参ります。

公益法人としての責任を保持し、当会が執り行う積極的な運動展開を支え、運営することで、当会の運動はより強く地域へ伝播します。そして強く伝播される当会の運動は諸先輩方から受け継がれてきた「明るい豊かな社会」の実現へ繋がると確信し、1年間邁進して参ります。

事業計画並びに事業予算

総会・例会の運営

◎新年式典（1月）他1

新体制でのご挨拶、当会の2022年度の活動内容と方針を来賓の方々に向けて発表し、理解を深めて頂くことを目的とした事業。

・通信運搬費	55,000円	・消耗品費	1,500円
・印刷製本費	14,500円	・賃借料	97,000円
・委託費	154,000円	・雑費	1,000円

予算 323,000円

◎通常総会（2月）管理費に計上

当会に2021年度の事業報告及び、収支決算報告承認を行うことを目的とした総会。

・通信運搬費	7,000円	・消耗品費	2,000円
・印刷製本費	3,000円	・賃借料	33,000円
・委託費	3,000円	・雑費	1,000円

予算 49,000円

◎定例会（7月）他1

役員選考委員会委員選挙

当会の2023年度の役員選考委員会委員を選出することを目的とした定例会。

・通信運搬費	6,000円	・消耗品費	2,000円
・印刷製本費	5,000円	・賃借料	4,000円
・委託費	3,000円		

予算 20,000円

◎通常総会（9月）管理費に計上

当会の2023年度の役員候補者及び組織図案の承認を行うことを目的とした総会。

・通信運搬費	7,000円	・消耗品費	2,000円
・印刷製本費	3,000円	・賃借料	33,000円
・委託費	3,000円	・雑費	1,000円

予算 49,000円

◎定例会（12月）他2

今年度から次年度へ弾みを付け繋げる事を目的とした定例会。

・通信運搬費	5,000円	・消耗品費	5,000円
・印刷製本費	14,000円	・賃借料	60,000円
・委託費	6,000円		

予算 90,000円

◎ LOM 内褒賞の開催 他 1

2022年度の青年会議所運動に貢献・功勞したメンバー及び委員会へ褒賞の企画を
目的とした事業（LOM内褒賞）

・雑 費 75,000円

予算	75,000円
----	---------

事業費合計	508,000円
-------	----------

管理費合計	98,000円
-------	---------

まちづくり委員会

担当副理事長 島 村 豊 次

基本方針

一昨年度より続く新型コロナウイルスの感染拡大により、我々の暮らしは感染防止に沿った生活様式へと変化してきています。当会のまちづくり運動もコロナ禍の状況に合わせた事業スタイルの転換や、非接触型の事業へと変容を遂げ、活動して参りました。この地域が更に発展していく為の可能性を模索し、継続して「明るい豊かな社会」創造の為、地域を牽引できる団体になれるようまちづくり運動に挑戦していかなければなりません。

その為には、このコロナ禍での各団体の活動や事業の情報を行政の方も交え、一緒に共有し、更なるまちづくり運動が発展できる機会を創出して参ります。そして、これからを担う世代を中心にこの地域が現状抱える問題、そして未来を見据えた地域の課題を抽出し共有できる場を開催する事で、これからの地域を担っていく世代の社会参画意識を醸成する場を創出し、地域を牽引するまちづくり運動へと繋げて参ります。

我々のまちの活性化を目的とし、五所川原青年会議所は様々なまちづくり運動を展開してきましたが、コロナ時代に合わせたまちづくり運動を推進していく事で「明るい豊かな社会」の創造に繋がっていくと確信し、今年度邁進して参ります。

委員長 山 田 瀧 仙

基本方針

全世界に猛威を振るい、いまだ収束の目処が立たない新型コロナウイルス。その渦中でも実施可能な事業を模索して参りましたが、当会のまちづくり運動も事業の変更を余儀なくされました。このままでは、五所川原青年会議所が掲げる、「明るい豊かな社会」の創造が出来ません。そこで、コロナ禍においても、実施できる事業体制を準備した上で、地域の発展や可能性を模索する、まちづくり運動に努めていかなければなりません。

その為には、行政を含めた各団体とコロナ禍における活動や事業の意見交換する場を設け、地域が発展していく為の打開策を協議しあい、今後のまちづくり運動の創造に繋げていく事が必要です。また、世代に焦点をあて、今後の地域のあり方や地域の問題を共に共有することで、社会参画意識が高まり、ウィズコロナとして生きていかなければならない世代の方々が、未来の地域の為に出来ることを模索し醸成することで、まちづくり運動の旗手となれるよう努めて参ります。

この地域に暮らす人々がまた安心して暮らせるよう、コロナ過に合わせた事業を展開し、地域全体のまちづくり運動向上を目指します。それが、「明るい豊かな社会」の創造に繋がっていくと確信し、今年度邁進して参ります。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎定例会（5月）公3

「変革のバトン～創造への第一歩～（仮称）」

コロナ禍の情報を共有し次に繋げる為の事業

・通信運搬費	10,000円	・消耗品費	20,000円
・印刷製本費	10,000円	・賃借料	20,000円
・委託費	10,000円	・雑費	10,000円

予算 80,000円

◎定例会（10月）公3

「社会参画意識を高め主体的に取り組む事業（仮称）」

次世代を担う人々の生き方をより良い方向に導く事業

・通信運搬費	10,000円	・消耗品費	10,000円
・印刷製本費	20,000円	・賃借料	20,000円
・保険料	30,000円	・委託費	200,000円
・雑費	10,000円		

予算 300,000円

事業費合計 380,000円

青少年委員会

担当副理事長 松谷 朋 典

基本方針

地方から三大都市圏への人口流出が続く日本。若者の進学による流出が、地方にはない魅力ある就労機会をもとめ定住へと繋がっております。また、東京圏、特に出生率の極めて低い東京都への定住は、地方の活力低下をもたらすだけでなく、日本全体としての少子化、人口減少へと繋がり、地方の未来の担い手がさらに減少します。それでは我々が目指す「明るい豊かな社会」の実現が困難となります。我々はこの地域の大人の責務として、子供たちへ地域の明るい未来を創造していかなければなりません。

その為にも、我々が持ち得る知識や経験を活かし、この地域固有の自然・特色ある文化・地域を支える産業などの魅力を最大限子供たちへ伝え、子供たち自身が体験を通して触れ、学び、郷土を「誇り」に思うことができる機会の創出、さらに、日常生活では経験することのない地域の人や同年代の友との交流から、多様な価値観を尊重し、自立心や社会性、創造力を養うことの出来る機会を創出することで、「逞しさ」と「郷土を愛する心」を持った青少年の育成に繋がります。

「誇り」という感情は、そのものを自然と大切にするもので、郷土での体験が子供たちの記憶に宿り、成長し様々な経験を経て、「郷土への誇り」を芽生えさせ、「逞しく」、「郷土を想い」牽引していく青少年の育成が、この地域の「明るい豊かな社会」へと繋がるものと信じ、1年間邁進して参ります。

委員長 大澤 慎 司

基本方針

地域の未来の担い手となりうる若者の都市部への流出は、人口減少問題や少子高齢化社会といった我々の住み暮らすこの地域においても、無視することの出来ない大きな問題となっております。特に少子化問題によって、この地域における魅力ある産業や文化の発展と継承が困難となります。これら特色ある魅力は子供達の郷土を誇りに思う心を育むためには重要であり、将来自分たちの誇れるこの地域へ住み暮らしたくなるよう、我々大人達が指し示していく必要があると考えます。

その為に、地域の支えとなっている産業や、古くからの文化を学ぶことの出来る事業を開催して参ります。また、勉強だけでは得ることの出来ない「逞しさ」や「郷土を愛する心」を育むため、本年度は「じょっぱりロード」を開催いたします。事業を通じて参加した子供達が、同年代の沢山の仲間や地域の人々との確かな思い出を残すことにより、いつまでも色褪せることのない記憶の1ページとなることが、将来またこの地域に帰りたい、住み暮らしたいと考えるような魅力を与える機会にしていきます。

未来の担い手である子供達が郷土を知り、誇りに思うその心が育まれた時、また、その次の世代へと紡ぎ、発展していくものと考えます。この経験をした子供達が大人になった時に、自らが地域の魅力を発信していけるものと信じ、1年間邁進して参ります。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎公開定例会（8月）公1

「じょっぱりロード（仮称）」

郷土の魅力となる文化や産業を学び、体験することで郷土を愛する心を育む事業

・旅費交通費	300,000円	・通信運搬費	6,000円
・消耗品費	100,000円	・印刷製本費	15,000円
・燃料費	10,000円	・賃借料	20,000円
・保険料	100,000円	・諸謝金	30,000円
・租税公課費	2,000円	・委託費	300,000円
・衛生費	30,000円	・雑費	70,000円

予算 983,000円

※その他の事業

◎「地域の職業体験（仮称）」（10月）公1

地域に根差す様々な職業を体験し、将来の就職へと繋げる事業

・旅費交通費	150,000円	・通信運搬費	6,000円
・印刷製本費	30,000円	・委託費	30,000円
・雑費	30,000円		

予算 246,000円

事業費合計 1,229,000円

50周年まつり委員会

担当副理事長 山 田 貴 之

基本方針

「天下泰平・国家安泰・五穀豊穰・悪疫退散」の祈りを込め、先人達から紡がれてきた地域の幸せを願うまつり「奥津軽虫と火まつり」は、地域の皆様と先輩諸兄のご支援ご協力により今年度で50回目を迎えます。近年ではコロナ禍の影響もあり、神明宮境内を舞台とした新たなまつりを執り行ってきました。また参加人数の縮小、参加団体の減少など様々な問題を抱えながらも、次なる半世紀へと繋げるために関係諸団体と連携を図り、伝統の燈火を絶やさぬよう運動を展開していかなければなりません。

その為にも、「奥津軽虫と火まつり実行委員会」を組織し、関係諸団体と連携を図りながら、地域市民との繋がりを意識した更なるまつりの変化を推し進め、開催可能な「第50回奥津軽虫と火まつり」のカタチを再構築していきます。また、まつりの未来伝承を担う世代が参画できる事業を展開し、地域のまつりの意義を知り、学び、体験することで、伝統の燈火を次代へ引き継ぎ、これからも勇壮な愛されるまつりを目指し、次なる半世紀へと繋げて参ります。

先輩諸兄・関係諸団体・地域企業の皆様が繋いできた「第50回奥津軽虫と火まつり」。この50回目という半世紀まで繋げてきた歴史ある伝統文化の燈火を絶やさぬよう伝承・継承して次世代へ繋ぐ事が「明るい豊かな社会」の創造に繋がると確信して、1年間邁進して参ります。

委員長 小 野 顕 成

基本方針

先人達から支えられ市民に愛されてきた「奥津軽虫と火まつり」は、50周年の節目を迎えることができました。これまでは大勢の参加者とともに白装束を纏い松明を担いで運行してきましたが、近年はコロナ禍によりまつりの規模縮小を余儀なくされてきました。しかし、地域の幸せを願う先人達によって紡がれてきた伝統の燈火は絶やすことはできません。この状況にも屈せず勇壮の精神で、地域と市民の幸せを願うまつりを次なる半世紀へと繋げていかなければなりません。

その為にも、継承活動をコロナの状況を見極めながら安全に実施していかなければなりません。これまでの継承活動をもとに、未来の担い手である子供たちに向けて、虫おくり本来の意味とまつりの大切さを伝え、まつりに参画できる事業を行います。そして、「奥津軽虫と火まつり」50周年を題材とした製作体験事業を通じて、まつりへの更なる愛着が継承に結びつくことで、次なる半世紀に伝統の燈火を繋げて参ります。

50年の大きな節目を迎えた「奥津軽虫と火まつり」。地域の繁栄を願い、そして市民の幸せを願い歩んできた歴史に感謝と誇りを持ち、いつの時代も愛されるまつりとして受け継がれることで、「明るい豊かな社会」の創造につながるものと確信して、1年間邁進して参ります。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎定例会 (6月) 公2

「第50回奥津軽虫と火まつり」

(公社)五所川原青年会議所が主催し、地域の人々と「天下泰平・国家安泰・五穀豊穰・悪疫退散」の祈りを込め、地域の幸せを願う定例会

・通信運搬費	55,000円	・消耗品費	266,000円
・印刷製本費	40,000円	・光熱水料費	25,000円
・賃借料	130,000円	・保険料	220,000円
・諸謝金	220,000円	・委託費	850,000円
・衛生費	170,000円	・支払負担金	5,000円
・雑費	120,000円		

予算 2,101,000円

※その他の事業

◎まつり継承事業(5～6月) 公2

五所川原市内の小学生に向けて、虫おくり本来の意味とまつりの大切さを学び願う継承事業。

・通信運搬費	5,000円	・消耗品費	5,000円
・印刷製本費	10,000円	・委託費	30,000円
・雑費	10,000円		

予算 60,000円

◎50周年記念事業(8～9月) 公2

未来の担い手に向けて、製作体験を通じてまつりへの愛着を育み未来に繋げる記念事業

・通信運搬費	10,000円	・消耗品費	15,000円
・印刷製本費	20,000円	・賃借料	10,000円
・保険料	40,000円	・委託費	25,000円
・雑費	20,000円		

予算 140,000円

事業費合計 2,301,000円

会員拡大交流委員会

担当副理事長 對馬 幸 征

基本方針

「明るい豊かな社会」の創造に向け、「奉仕・修練・友情」の三信条を胸に運動展開してきた当会も卒業や退会など、さらに近年の社会全体に影響したP a n d e m i cによる新生活様式に捉われ、より拡大運動が展開し難い年が続き、昨年同様期首人数40名を下回りスタートします。この状況が続くことで行う事業の縮小、それに伴い組織の魅力低下、すなわち会員数減少となる負の連鎖へと繋がりがねません。地域に変革をもたらす希望の光となり運動を展開していくためにも、会員拡大は急務です。

まずは、青年会議所の行う各事業を、会員候補者がオブザーブし易いように環境を整え、オブザーブしていただくことで当会に触れ、青年会議所でしか味わえないE x p e r i e n c eを重ねていき拡大へと繋がります。さらに、オブザーブしていただく方が増えることによって、会員一人ひとりが意識高揚されすなわち組織の魅力が高められます。また、委員会の垣根を越え会員同士が交流を図ることにより、「明るい豊かな社会」の創造に向け魅力的な運動が発信できます。

会員同士委員会同士が交流を図ることで和ができ、「迅速果斷」な姿勢で運動を展開していくことが愛する地域に伝播され、やがて持続可能な会員拡大へと繋がる正の循環となるまで我々は歩みを止めることなく、1年間邁進して参ります。

委員長 川 浪 剛 功

基本方針

「奉仕・修練・友情」の三信条を掲げ、「明るい豊かな社会」の実現に向け運動を展開してきた当会も早期退会者や多数の卒業生、またコロナ禍において拡大運動並びに会員間の交流が少ない年が続き、昨年同様期首人数40名を下回ります。このままでは会員減少に始まる事業の縮小、それに付随し組織の魅力低下、更なる会員数減少となる負の連鎖へと繋がる可能性があります。持続可能な運動を展開し、地域の光明となるためにも、会が一丸となって取り組む会員拡大は急務です。

地域に魅力的な活動を発信していくため、まずは、「拡大に関する事業」で組織の現状を知り拡大への意識を高めます。さらに、会員候補者の窓口として尽力しオブザーブを促進、メンバーとの友好を深めE x p e r i e n c eを積み上げ拡大へと繋がります。また、「会員交流事業」や「大望年会並びに卒業式」にて委員会の垣根を越え、会員同士の交流を図ることで友情を深め、組織の団結力を高め、魅力を向上させていきます。

「迅速果斷」な心構えで急速に変化する社会環境の中、持続可能な会員拡大へと繋がる正の循環にするため、まずは委員会同士の活発な交流を促し、組織の魅力を向上させ、当会の運動を愛する地域へ拡散することが会員拡大に繋がることを確信し、1年間邁進して参ります。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎定例会 (3月) 他1

「会員交流会 (仮称)」

会員の友情や団結力を高め組織の魅力を向上させる事業

・通信運搬費	10,000円	・消耗品費	50,000円
・印刷製本費	20,000円	・賃借料	30,000円
・委託費	40,000円		

予算 150,000円

※その他の事業

◎「会員拡大 (仮称)」(2月) 他2

会員拡大に関する意識を高め、情報収集及び会員への拡大運動を促進する事業

・通信運搬費	30,000円	・印刷製本費	20,000円
--------	---------	--------	---------

予算 50,000円

◎「会員交流事業 (仮称)」(9月) 他1

新入会員と会員の友情を育み団結力を高め組織の魅力を向上させる事業

・通信運搬費	10,000円	・消耗品費	60,000円
・賃借料	30,000円	・保険料	20,000円
・委託費	30,000円		

予算 150,000円

◎「大望年会並びに卒業式 (仮称)」(12月) 他1

会員同士の労をねぎらい、長年 JC 活動に従事した卒業生に御礼を伝える事業

・通信運搬費	10,000円	・印刷製本費	10,000円
・委託費	50,000円	・雑費	80,000円

予算 150,000円

事業費合計 500,000円

会員研修特別室

担当理事 佐々木 邦 和

基本方針

フランスの哲学者パスカルは、人間は考えるために生まれている。ゆえに人間は、ひとときも考えないではいられない。という言葉を残しました。この人間の本質ともいえる思考をより良いものとする為には、より良い学びが必要であり、自己研鑽に努めることが求められます。青年会議所が持つ三信条の一つ、「修練」を学びという形に具現化し、機会の提供をすることは、当会の本旨であるものと考えます。また、責任を求められる世代の私たちが思考を広げ深めることは私たちに与えられた責務です。

青年会議所では、JC運動を通じた資質向上や会員相互の交流を通じた知見の向上など様々な学びの機会があります。そのような学びがより良い機会となるべく、青年会議所を主体として「JC研修会」を開催致します。また、社業・家庭と多様な選択をしていかなければならない責任世代として、その選択肢の数と質を高めるべく「METHOD&MINDDISCOVER」を開催いたします。併せて、事業計画段階より会員間交流を行い、思考と時間を重ねることで組織の相乗効果を生み出して参ります。

急速な変化を遂げる昨今の社会情勢に於いて、私たちが備えるべき学びも変化しております。「迅速果敢」な姿勢で組織を通じた学びと責任世代としての思考を広げることは、当会の底上げに繋がると共に、私たち自身が地域の担い手として昇華することで地域がより豊かになるものと確信致します。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎定例会 (4月) 他2

「JC研修会(仮称)」

青年会議所を通じた資質向上事業

・通信運搬費	5,000円	・消耗品費	2,000円
・印刷製本費	1,000円	・賃借料	5,000円
・委託費	10,000円		

予算 23,000円

◎定例会 (11月) 他2

「METHOD&MINDDISCOVER(仮称)」

責任世代として、その選択肢の数と質を高める事業

・通信運搬費	5,000円	・消耗品費	2,000円
・印刷製本費	2,000円	・賃借料	5,000円
・委託費	30,000円		

予算 44,000円

※その他の事業

◎「JCセミナー(仮称)」(通年・全2回) 他2

青年会議所を理解しながら会員相互の交流を図る事業

・消耗品費	1,000円	・印刷製本費	1,000円
-------	--------	--------	--------

予算 2,000円

◎「ROAD to 2022 SAMURAI セミナー(仮称)」(2月) 他2

2022年度の五所川原JCがより良くなるためのサムライ事業

・通信運搬費	1,000円	・消耗品費	1,000円
・印刷製本費	1,000円	・賃借料	5,000円
・委託費	30,000円		

予算 38,000円

◎「迅速果敢事業(仮称)」(9月) 他2

2022年度五所川原JCに必要とされる事業

・消耗品費	1,000円	・印刷製本費	1,000円
・賃借料	5,000円	・委託費	10,000円

予算 17,000円

事業費合計 124,000円

年間事業スケジュール(事業)

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
日本青年会議所	京都会議 京都 21日(金)～23日(日) 総会 京都22日(土)		総会 未定26日(土)			
東北地区協議会	正副会議 11日(火) 役員会議 31日(月) 会員会議所会議 未定	正副会議 7日(月) 役員会議 27日(土)	正副会議 7日(月) 役員会議 28日(月)	正副会議 4日(月) 役員会議 25日(月)	正副会議 9日(月) 役員会議 30日(月)	正副会議 6日(月) 役員会議 27日(月)
青森ブロック協議会	役員会議 WEB 12日(水)	役員会議 WEB 12日(土) 会員会議所会議 八戸 5日(土) 会員会議所会議 三沢 20日(日) 新春名刺交換会 八戸 5日(土)	役員会議 WEB 9日(水) 役員会議 WEB 30日(水) 会員会議所会議 青森 19日(土)	役員会議 WEB 21日(木) 会員会議所会議 黒石 9日(土)	役員会議 WEB 25日(水) 会員会議所会議 五所川原 7日(土)	役員会議 WEB 23日(木) 役員会議 十和田 11日(土)
五所川原青年会議所	新年式典 五所川原 16日(日)	通常総会	定例会	定例会	公開定例会	奥津軽虫と火まつり
理 事 会	7日(金)	7日(月)	7 日(月)	5日(火)	5日(水)	6日(月)
総務合同委員会	新年式典	通常総会				
青少年委員会						
50周年まつり委員会					まつり継承事業	まつり継承事業・ 奥津軽虫と火まつり
まちづくり委員会					定例会主管	
会員拡大交流委員会		会員拡大	定例会主管			
会員研修特別室		ROAD to 2022SAMURAIセミナー	J C セミナー	J C 研修会		

	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
日本青年会議所	国際アカデミー サマーコンファレンス 16日(土)～17日(日)			全国大会 大分 7日(金)～10日(月) 総会 大分8日(土)	JCI世界会議 7日(月)～11日(金)	
東北地区協議会	正副会議 4日(月) 役員会議 25日(月)	正副会議 1日(月) 役員会議 29日(月)	正副会議 5日(月) 役員会議 26日(月) 東北青年フォーラム 栗原1日(木)～3日(土)	正副会議 3日(月) 役員会議 24日(月)	正副会議 7日(月) 役員会議 28日(月) 会員会議所会議 未定	
青森ブロック協議会	役員会議 WEB 21日(木) 会員会議所会議 三沢 9日(土) アオモリサマーサミット 青森 2日(土)～3日(日)	会員会議所会議 八戸 27日(土)	役員会議 WEB 6日(火) 会員会議所会議 弘前 23日(金)	役員会議 WEB 6日(水) 会員会議所会議 むつ 29日(土)	役員会議 WEB 4日(金) 会員会議所会議 未定 26日(土)	会員会議所会議 五所川原 4日(土) アカデミー大学 開校式 五所川原 4日(土) ブロック卒業式 五所川原 4日(土)
五所川原青年会議所	選考委員会選挙	公開定例会	通常総会	公開定例会	公開定例会	定例会
理 事 会	5日(火)	5日(金)	5日(月)	5日(水)	7日(月)	5日(月)
総務合同委員会	選考委員会選挙	じよばりロード(仮称)	通常総会			次年度説明会・ LOM内褒賞
青少年委員会		50周年記念事業		青少年事業		
50周年まつり委員会			50周年記念事業			
まちづくり委員会				定例会主管		大望年会並びに 卒業式
会員拡大交流委員会			会員交流事業			
会員研修特別室			迅速果断事業	J C セミナー	定例会主管	